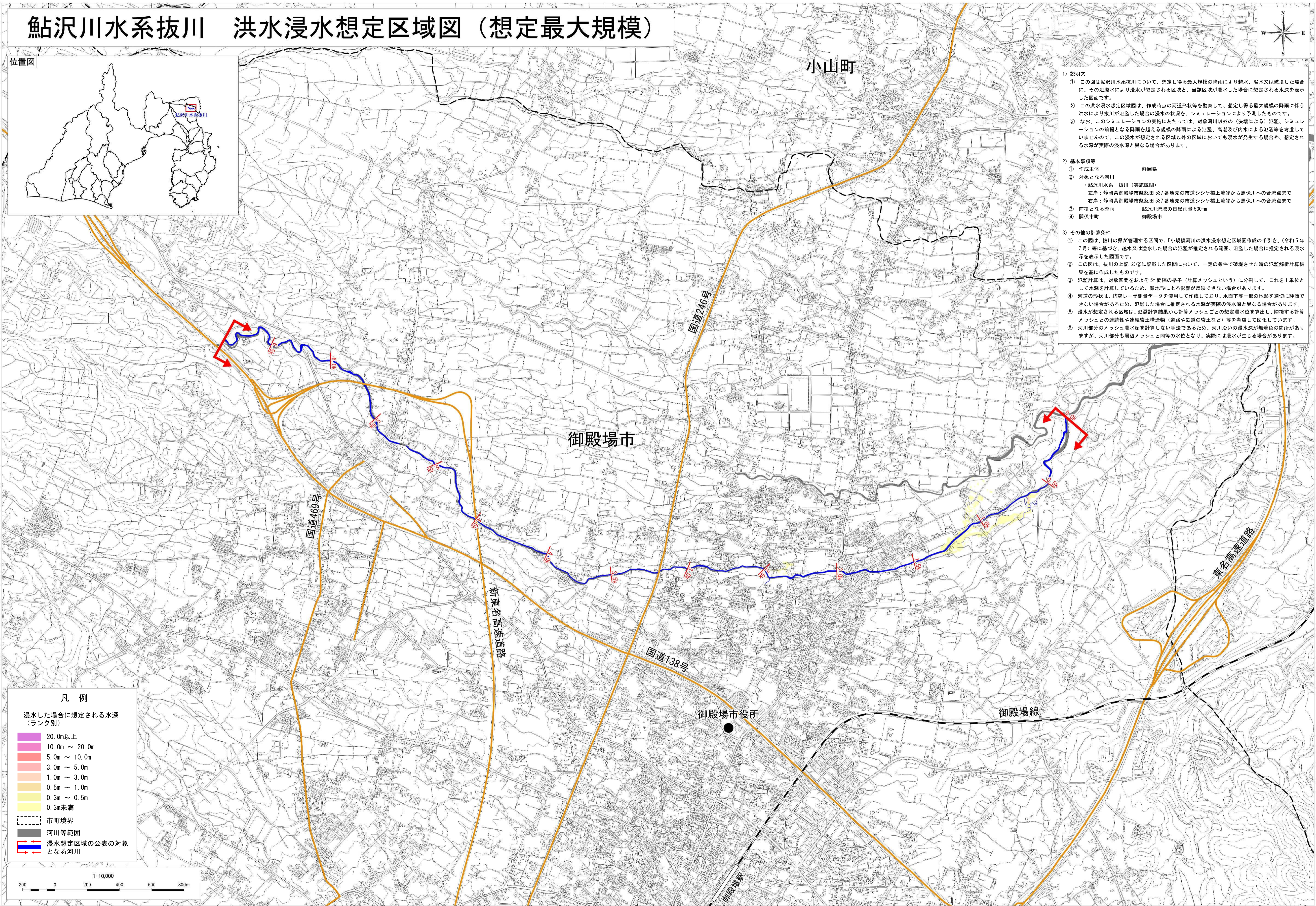
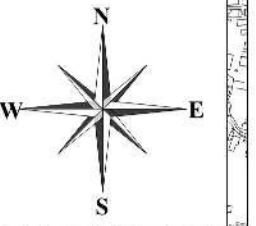
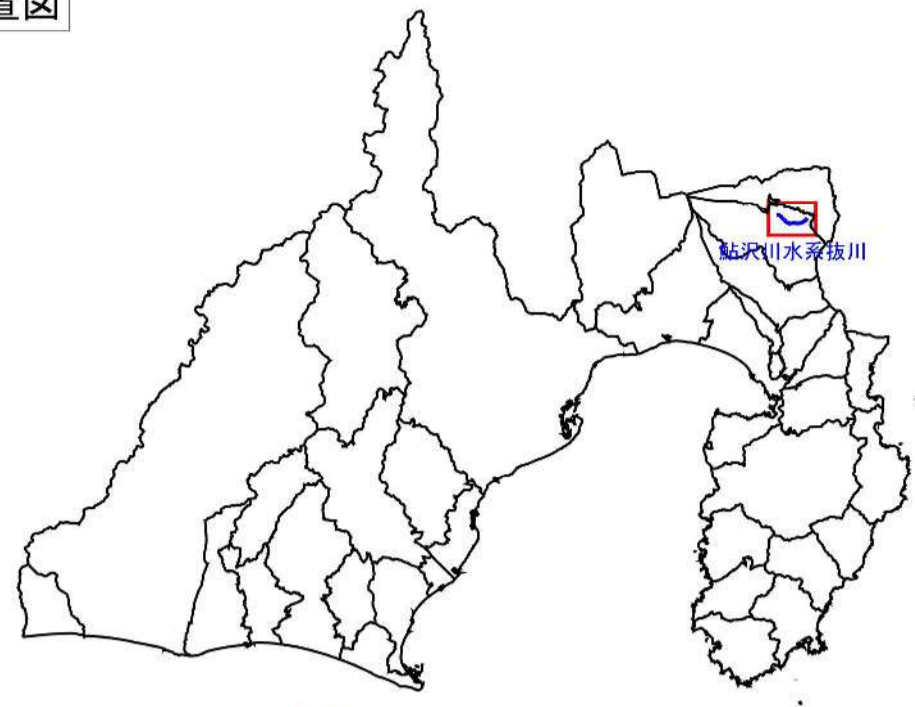


鮎沢川水系抜川 洪水浸水想定区域図 (想定最大規模)

位置図



- 1) 説明文
- この図は鮎沢川水系抜川について、想定し得る最大規模の降雨により越水、溢水又は破壊した場合に、その氾濫水により浸水が想定される区域と、当該区域が浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。
 - この洪水浸水想定区域図は、作成時点の河道形状等を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により抜川が氾濫した場合の浸水の状況を、シミュレーションにより予測したものです。なお、このシミュレーションの実施にあたっては、対象河川以外の（決壊による）氾濫、シミュレーションの前段となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この浸水が想定される区域以外の区域においても浸水が発生する場合は、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。
- 2) 基本事項等
- | | |
|-----------|--|
| ① 作成主体 | 静岡県 |
| ② 対象となる河川 | 鮎沢川水系 抜川（実施区間）
左岸：静岡県御殿場市楽怒田537番地先の市道シンケ橋上流端から馬伏川への合流点まで
右岸：静岡県御殿場市楽怒田537番地先の市道シンケ橋上流端から馬伏川への合流点まで |
| ③ 前提となる降雨 | 鮎沢川流域の日総雨量530mm |
| ④ 関係市町 | 御殿場市 |
- 3) その他の計算条件
- この図は、抜川の県が管理する区間で、「小規模河川の洪水浸水想定区域作成の手引き（令和5年7月）」等に基づき、越水又は溢水した場合の氾濫が推定される範囲、氾濫した場合に推定される浸水深を表示した図面です。
 - この図は、抜川の上記2)②に記載した区間において、一定の条件で破壊させた時の氾濫解析計算結果を基に作成したものです。
 - 氾濫計算は、対象区間をおよそ5m間隔の格子（計算メッシュという）に分割して、これを1単位として水深を計算しているため、微地形による影響が反映できない場合があります。
 - 河道の形状は、航空レーザ測量データを使用して作成しており、水面下等一部の地形を適切に評価できない場合があるため、氾濫した場合に推定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。浸水が想定される区域は、氾濫計算結果から計算メッシュごとの想定浸水水位を算出し、隣接する計算メッシュとの連続性や連続盛土構造物（道路や鉄道の盛土など）等を考慮して固めています。
 - 河川部分のメッシュ浸水深を計算しない手法であるため、河川沿いの浸水深が無着色の箇所がありますが、河川部分も周辺メッシュと同等の水位となり、実際には浸水が生じる場合があります。

凡例

浸水した場合に想定される水深
(ランク別)

- 20.0m以上
- 10.0m ~ 20.0m
- 5.0m ~ 10.0m
- 3.0m ~ 5.0m
- 1.0m ~ 3.0m
- 0.5m ~ 1.0m
- 0.3m ~ 0.5m
- 0.3m未満

--- 市町境界

--- 河川等範囲

--- 浸水想定区域の公表の対象となる河川

1:10,000

0 200 400 600 800m

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 5JHs 544」

※A1出力時は1:10,000、A3出力時は1:20,000